

第46回公共施設等総合管理計画 策定推進本部	日時	令和7年6月24日(火) 8:46~9:30	場所	庁議室
出席者 (15人)	白井市長、神山副市長、古橋副市長、大熊教育長 梅原企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、鈴木総務部長、深澤市民部長、柿崎環境部長、高橋福祉保健部長、堤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大澤学校教育部長、平野生涯学習部長、伏見議会事務局長			
欠席者	なし			
事務局	企画政策課 郷古公共施設マネジメント推進担当課長 保育課 中島保育施策調整担当課長			
議題	1 (仮称) 小金井市立保育園の在り方に関する方針(案)について			
資料	1 (仮称) 小金井市立保育園の在り方に関する方針(案)について			
(進行：企画財政部長)				
【議題1】 (仮称) 小金井市立保育園の在り方に関する方針(案)について				
(本件については、子ども家庭部長が説明を行った。)				
<ul style="list-style-type: none"> ○ 方針(案)のタイトルを変更した。 ○ 前方針と新たな本方針の主な変更点について、資料にまとめている。詳細は資料のとおり。 ○ 保育士の正規職員数については、市全体への影響が最小になるよう、新たな4つの役割を担当する職員を含めたとしても、前方針以下の職員数で検討している。 ○ 4つの役割については、本方針の中に記載しており、特に医療的ケア児の受け入れ態勢については、けやき保育園に配置する方針としている。 ○ 条例関係については調整中であり、資料の定員等の数字については古いままのため、今後変更する予定である。 ○ 方針の中に条例が載るのは異例ではあるが、条例案を示しながらパブリックコメントを実施したいと考えている。 ○ 9月に条例改正することが必須であることから、よろしく願います。 				
【関連質疑等】				
<ul style="list-style-type: none"> ○ 9月に条例改正が必須な理由は何か。 → 10月から令和7年度途中からの募集、令和8年度の募集数の根拠となる条例であるため。 ○ 同じ条例の廃止と可決について、定例会の中での扱いはどのように考えているのか。 → 現時点では、新しい条例の付則で旧条例を廃止することを考えており、議案としては一つにする。 ○ さくら保育園について、令和7年度中に2歳児クラスの定員を12名にするということだが、職員の対応は大丈夫か。 → 新たな職員の採用が決まれば、さくら保育園に配置する予定である。 ○ 4ページの老朽化への対応について、「大規模な改修」と記載されているが、個別施設計画の中では「長寿命化改修」となっているため、調整していただきたい。 				
— 以上で、会議終了 —				